

令和3年度兵庫県統計協会事業報告

1 統計協会の運営

(1) 監査の執行

令和3年4月20日(火)、兵庫県民会館・兵庫県町村会会議室において、令和2年度決算について監査が執行された。

(2) 理事会の開催

書面表決によって実施し、令和2年度事業報告及び決算並びに令和3年度予算について、すべて承認された。

2 統計資料の発行

「令和2年兵庫県統計書」、「兵庫県勢要覧2022」及び機関誌「兵庫の統計」(毎月1回)を発行し、会員及び賛助会員に提供した。「兵庫県市区町別主要統計指標令和4年版」、「兵庫県の人口の動き(令和3年1月～12月)」については、コピー対応による希望送付とした。

また、協会刊行物について、一般への周知を図るため、神戸市内の主要書店で「兵庫県統計書」、「兵庫県勢要覧」の販売を継続した。

3 統計普及事業の実施

(1) 統計グラフコンクールの開催

ア 統計知識の普及と統計グラフの表現技術の研さんを図るため、県との共催で兵庫県統計グラフコンクールを開催した。

応募及び入賞の状況

区 分	応 募		入賞(点数)			
	作品数	人 数	特選	入選	佳作	計
第1部(小学校1・2年生)	41	41	1	2	3	6
第2部(小学校3・4年生)	21	21	1	1	1	3
第3部(小学校5・6年生)	60	71	1	2	3	6
第4部(中学校)	1,790	1,799	1	4	5	10
第5部(高等学校以上)	162	272	1	2	2	5
パソコン統計グラフの部	566	745	1	4	5	10
計	2,640	2,949	6	15	19	40

※ 応募作品数は全都道府県中第1位

(2位)茨城県：2,043点、(3位)大阪府：1,767点、(4位)東京都：1,434点

イ 各部入賞作品のうち優秀作品26点を統計グラフ全国コンクールに出品した結果、全国コンクール特選(特別賞)に1作品、入選に4作品、佳作に2作品が入賞。

(2) 統計グラフコンクール優秀作品展示会の開催

統計に関する県民の理解と関心を深めるため、統計グラフコンクールで入賞した作品を展示する標記展示会を県との共催で開催。

神戸市(12月) 全入賞作品(40点)を展示

加古川市（1月） 全入賞作品（40点）を展示
姫路市（2月） 特選・姫路市内の学校の入選・佳作作品を展示

(3) 統計活用研修講師の派遣

市町を対象に、統計活用に関する課題解決の支援をするため、セミナー・研修等の講師として統計活用研修講師を派遣する事業を実施した(3市)。

- ・ 産業連関表を利用した経済波及効果の推計 等

(4) 兵庫県統計活用セミナーの開催

統計データの利用についての理解及び普及を図り、統計の利活用を推進するため、「国勢調査結果の利活用」等をテーマとしたセミナーを対面及びWEB開催した。

(開催日) 令和3年12月2日(木)

(参加者) 国・地方公共団体職員、兵庫県統計協会賛助会員、企業、シクタク等 130名

(内容) セミナーⅠ「令和2年国勢調査の兵庫県概要と活用例」

講師：兵庫県企画県民部ビジョン局統計課参事 芦谷 恒憲

セミナーⅡ「兵庫県を中心とした国内人口移動傾向の変化の分析ー新型コロナウイルス感染拡大に伴う最近年の変化を交えてー」

講師：国立社会保障・人口問題研究所 人口構造研究部長 小池 司朗

セミナーⅢ「新型コロナウイルス感染拡大の地域経済への影響と課題」

講師：公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部次長 松嶋 慶祐

(5) 統計専門講師の派遣

協会事業の一層の充実を図るため、賛助会員へ統計専門講師を派遣し、統計に関する講演を行った（1団体）。

(開催日) 令和3年6月29日(火)、8月3日(火)

(場 所) 尼崎市內

4 児童・生徒に対する統計教育普及事業について

兵庫県統計教育研究会指定の研究推進校での取り組みが、新型コロナウイルス感染症の学校運営への影響が大きく中止となったため、事業への補助は行なわなかった。

5 統計協議会の推進

統計職員の資質の向上等を目的とした統計協議会に対し、その経費の助成を行った。

6 兵庫県統計功労者表彰式の開催

統計の普及向上と、統計関係者の士気の高揚を図るため、県との共催により表彰式を開催し、統計功労者の表彰を行った。

(開催日) 令和3年12月9日(木)

(場 所) 兵庫県公館大会議室

(参加者) 約130名

- (内 容) ・知事表彰、知事感謝贈呈、各省大臣表彰の伝達、
兵庫県統計グラフコンクール特選受賞者及び学校奨励賞受賞校表彰
・令和3年度兵庫県統計グラフコンクール特選作品展示